



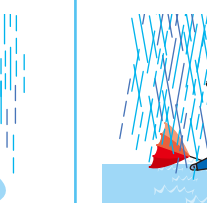


4 <平常時確認> 風水害について

▶ 雨の降り方と災害発生の目安

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば、避難等の準備をしたり自主的に避難することも大切です。[雨量は1時間雨量(ミリ)]

10~20ミリ やや強い雨	20~30ミリ 強い雨	30~50ミリ 激しい雨	50~80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ~ 猛烈な雨
				
ザーザーと降る この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。	どしゃ降り 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。	バケツをひっくり返したように降る 山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く) マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる 雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

▶ 気象情報の種類と主な警報・特別警報

注意報	災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報	
警報	重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報	
	大雨(浸水害)	大雨により浸水害が起こるおそれがあると予想される場合
	大雨(土砂災害)	大雨により土砂災害等が起こるおそれがあると予想される場合
	洪水	洪水により重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
特別警報	警報発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合	
	暴風	暴風により重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
	暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

詳細な基準は気象庁ホームページを参照してください。 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/kijun/wakayama.html>

避難の際の注意点

- 服装は長袖長ズボン、靴は動きやすい運動靴、複数人での避難を心掛けましょう。
 - 狭い路地や川沿い、がけ下等はできる限り避けて避難しましょう。
 - ブロック塀や自販機等、倒れてくる危険のあるものには近づかないようにしましょう。
 - 風雨・浸水等の状況によっては自宅の2階等高い場所への避難(垂直避難)を検討しましょう。
- ※避難所での密を避けるために、家族や友人宅、宿泊施設等への避難の検討をお願いします。